



＜教師が発信することの大切さ＞

ニュース等で「多忙」「ブラック」と言われ続けている学校現場ですが、そんな中であっても、子どもたちに分かりやすく楽しい授業を提供するための準備、テストや作品、提出物の評価等は、たとえ時間がなくても手抜きをすることはできません。学校行事の準備等も同様です。そして、授業準備等と同じく大切なのが「生徒指導・生活指導」です。集団の中で人と関わってよりよく生活していく力を身に付けさせる大切な仕事です。この次には、書類の作成等のデスクワークに時間が割かれていきます。

今まで述べてきた業務の次あたりに、「教師による情報発信」があると考えています。優先順位は決して高くはないですが、意図的に情報発信を行うと、担任の考えなどが、保護者や子どもたちにより伝わりやすくなり、願いや意図などを理解してもらうことで、学級での教育活動がよりよく行うことができるという好循環が生まれてきます。松崎小学校にも、数ある情報発信の取組の一つとして、若手教員を中心に「学級通信」を発行している教員がいます。学級通信は、出さなくてもいいものだけど、出すことで、特に若手の教員等にはメリットがあるものだと感じています。メリットとしては、以下のことがあると考えています。

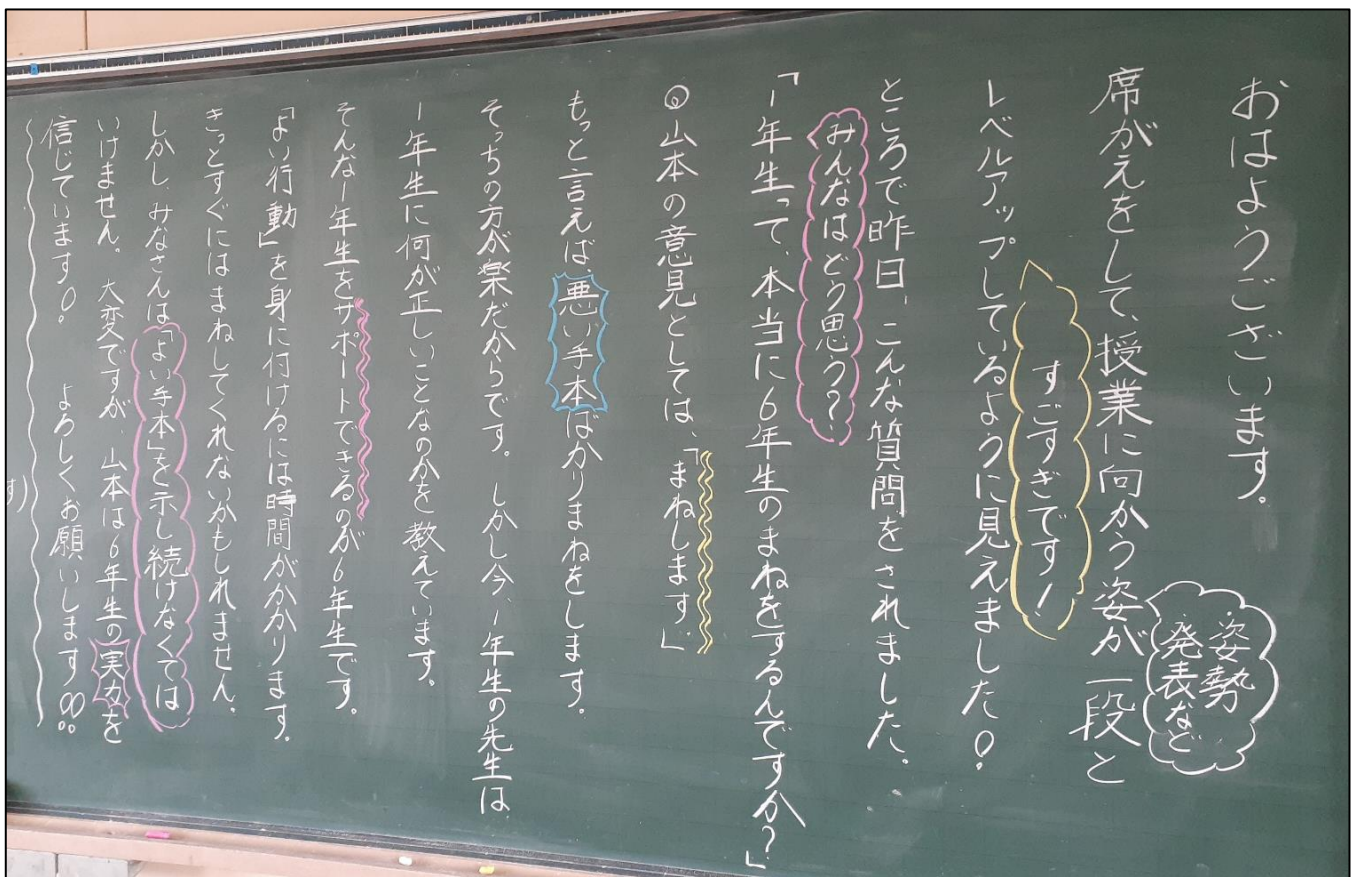
★指導の記録・評価としての活用

★子どものよさを見つけるようになる

★子どものよさやがんばりを価値づける

★家庭との連携が深まる

学級通信とはちがう方法で、「教師によるメッセージの発信」を行っている取組も紹介したいと思います。新採2年目、6年1組担任の山本 優教諭が、子どもたちと出会った始業式の日から、毎日欠かさず取り組んでいる「**黒板メッセージ**」です。



子どもたちの可能性を信じて、教師としての願いを子どもたちと共有しようとする熱い思いが伝わってきます。6年生にとっては残り9ヶ月となった小学校生活。みんなが、6年生の成長と活躍を願っています。